

校長室だより(No.7)

令和3年5月28日
丹波市立黒井小学校長
谷口 千尋

「学びのあしあと」

エサやり、水やりの様子



クジャク「パタ」(もう一羽はチョコ)



先日の丹波新聞で紹介されましたが、黒井小学校ではクジャクを飼育しています。いつ頃から、どのような経緯で飼われはじめたかにつきましては、現在の校舎が新築されたときに飼育小屋の寄贈とともに地域の方から贈られたのがクジャクの飼育の始まりのようです。(詳しくは、丹波新聞で…)

子どもたちは、飼育活動を通して、次のようなことを学んでいます。

- ① 担当する学年や子どもたちが飼い続けることによって根気や責任感を学びます。
- ② 友だちと協力しあって、一緒に世話をするなかで協力し合うことやルールを学びます。
- ③ 飼育している動物の性質や習性から命の循環や多様性を学びます。
- ④ 動物の様子から感動したことを表現したり、活動を振り返ったりすることから学びます。
- ⑤ 飼育活動を通して地域の人とのかかわりのなかで学びます。

現在 2 年生がクジャクの世話をしています。休み時間や生活科の時間にクラスの友だちと協力し合って世話をつづけています。おたがいに相談し合って、役割や分担を決め、クジャクたちのために力を合わせていくことの大切さを学んでいます。当番をしなかったり、約束を守らなかったり、自分勝手な行動をすれば、友だちもクジャクも困るということにも気付いています。クジャクの習性や動き方を理解して、友だちと一緒にになって世話をすることによって、おたがいにわかったことを話し合うことも大切な学びです。そのことが、世話をする楽しさや意欲をより高めることにもなります。さらに、クジャクのためになることをしてあげようという思いやりの心も培うこととなります。

5月27日 丹波新聞より

